

2018 年 12 月 4 日

2019 年 IEEE 信越支部活動計画

1. 講演会・講習会

- IEEE 信越支部が共催もしくは協賛する専門講演会を、信越支部内の各大学あるいは高専において 3 回程度開催する。
- 電子情報通信学会・信越支部大会、および、電気学会・東京支部新潟支所大会において、IEEE Session を開催し、地域の学生に対し、英語による発表・討論の場を提供する。
- 上記の IEEE Session において、Young Researcher Paper Awards をそれぞれ 1～2 名（合計 2～4 名程度）選抜し、賞を与え活動を称える。
- 電子情報通信学会・信越支部大会、および、電気学会・東京支部新潟支所大会において、IEEE 信越支部が共催する特別講演会を開催する。10 月と 11 月を予定している。

2. 学生増員

- 学会におけるアナウンスや、ホームページなどを介して、昨年に引き続きより一層、学生会員数を増やす方法を検討して実施する。
- Section Student Branch の設立（2018 年中もしくは 2019 年当初予定）にともなう、活動を通じて、積極的な宣伝活動、Student Branch Session の開催などを軸に新しいイベントを実施する。

3. シニア・メンバーの増員

- シニア・メンバーへノミネートされる可能性のある会員を調べ、手続きすることを奨励し、その方法を示し、推薦人を紹介するなど諸般工夫し、シニア・メンバーへの申請者数を増やす。

4. 役員会

- 2019 年 5 月 : 第 1 回支部役員会
- 2019 年 10 月 : 第 2 回支部役員会（電子情報通信学会 信越支部大会）
- 2019 年 11 月 : 第 3 回支部役員会（電気学会 東京支部 新潟支所 研究発表会）
- 2019 年 12 月 : 第 4 回支部役員会（必要に応じて開催予定）

IEEE Shin-etsu Section 2019年予算案

(DRAFT)

2018年11月30日

Treasurer: Pauline N. Kawamoto

<<収入の部>>

科 目	昨年度決算(円)	予 算 額(円)	備 考
前年度繰越	1,056,227	971,515	
Section Rebate	365,609	350,000	IEEE 本部より (MAG-33 chapter rebate 含む)
Section Assessment	462,426	450,000	IEEE 本部より
Support from JC	399,875	0	Japan Council より (2017年～JC予算→0)
その他	54,825	0	
銀行利息	12	12	
合 計	2,338,974	1,771,527	

* 今年度実績より1USD=112円で見積

<<支出の部>>

科 目	昨年度決算(円)	予 算 額(円)	内 容
Support to JC	400,595	380,784	Japan Councilへ (支部への固定費 H29 10% → H30 13% → H31 15%, per JC e-mail to 支部役員 10/25)
共催講演会旅費	23,080	100,000	講演者交通費
支部会議	181,906	120,000	交通費、準備費
信越セッション発表会	132,214	180,000	協賛学会協賛金、優秀発表の表彰
学生国際会議参加奨励賞	320,000	0	H31→0
銀行手数料	11,100	10,000	振込手数料、換金手数料
その他	298,564	22,400	Chapter Rebate (MAG-33)
支出小計	1,367,459	813,184	
次年度繰越金	971,515	958,343	
合 計	2,338,974	1,771,527	

IEEE 東京支部 2018 年 活動報告

2018 年 12 月 4 日

Organizational Activities

- 2018 年 IEEE 東京支部総会 参加者 : 39 名
3 月 29 日 (木) 14 時 30 分～15 時 00 分
 - ・ 2017 年活動実績および会計、2018 年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
 - ・ 第 1 回理事会 : 2018 年 3 月 29 日 (木) 12:00～13:45 参加者 : 18 名
 - ・ 第 2 回理事会 : 2018 年 6 月 15 日 (金) 15:00～17:00 参加者 : 15 名
 - ・ 第 3 回理事会 : 2018 年 9 月 28 日 (金) 15:00～17:00 参加者 : 15 名
 - ・ 第 4 回理事会 : 2018 年 12 月 18 日 (火) 14 : 30～17 : 00 機械振興会館 (予定)
- 2019/2020 年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告
2018 年 8 月 24 日 Tokyo Bulletin 第 111 号に掲載
2018 年 10 月 25 日 追加指名公告結果を Tokyo Bulletin 第 113 号に掲載

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会/見学会
 1. 2018 年 3 月 29 日 (水) : 東京支部総会 講演会
講師 : 平川 恵悟 氏 (University of Dayton)
演題 : 「Camera-Aware Multi-Resolution Analysis for Raw Image Sensor Data Compression」
場所 : 機械振興会館
 2. 2018 年 5 月 15 日 (火) : 「LMAG-Tokyo イブニングサロン」
講師 : 直井 聡 氏 (富士通研究所 フェロー 兼 富士通研究開発中心有限公司 (FRDC) CEO)
演題 : 「中国の IT 動向と富士通の中国研究所の活動」
場所 : 機械振興会館
 3. 2018 年 7 月 5 日 (木) : 東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師 : 鈴木 浩 氏
(日本経済大 大学院経営学研究科長 メタエンジニアリング研究所長)

演題：「再生可能エネルギー、光と影」

場所：機械振興会館

4. 2018年7月9日(月)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会

講師：井口 俊夫 氏 (国立研究開発法人 情報通信研究機構)

演題：「Radar Measurement of Precipitation from Space」

場所：機械振興会館

5. 2018年9月6日(木)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会

講師：納富 雅也 氏 (NTT 物性科学基礎研究所ナノフォトンクスセンタ上席特別研究員・東京工業大学理学院 教授)

演題：「フォトニック結晶による集積ナノフォトンクス技術」

場所：機械振興会館

6. 2018年9月10日(月)：東京支部 LMAG 主催 / HC・TPC 共催 見学会・講演会

講師：立松 健一 氏 (国立天文台 教授・野辺山宇宙電波観測所長)

演題：「野辺山 45m電波望遠鏡が明らかにする宇宙の姿」

場所：国立天文台・野辺山宇宙電波観測所

7. 2018年9月27日(木)：東京支部 LMAG 主催 / TPC 共催 見学会・講演会

講師：小瀬木 滋 氏 (電子航法研究所 所長)

演題：「航空管制とは？」

場所：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 「電子航法研究所」

8. 2018年11月8日(木)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催見学会・講演会

講師：奥村 治彦 氏 (東芝 研究開発センター メディア AI ラボラトリー シニアフェロー／千葉大学工学研究院 客員教授)

演題：「新たな映像技術がもたらすイノベーション - 空間に浮かべる映像が人間の機能を拡張する -」

場所：東芝未来科学館

9. 2018年12月10日(月)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会

講師：廣瀬 明氏 (東京大学大学院工学研究科 教授)

演題：「複素ニューラルネットワークの基本アイデアと今後の展開
- 地球 AI から超低消費電力ニューロデバイスまで -」

場所：機械振興会館

10. 2018 年 12 月 25 日(火) : 東京支部 LMAG 主催 / TPC 共催 見学会

内容 : 日本自動車研究所 見学会

場所 : 一般財団法人日本自動車研究所 (JARI)

Students Activities

- 4 月 11 日 電気通信大学 新入生向けレポートの書き方講座
- 4 月 21 日 東京農工大学 SB 新メンバー勧誘
- 5 月 2 日～16 日 東京農工大学 TeX ワークショップ
- 5 月 17 日 電気通信大学 LaTeX 講座
- 6 月 28 日 東京農工大学 前期 SB 内ワークショップ
- 8 月 7 日～8 日 Japan Council SAC 主催 IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 東京大学・中央大学・慶応義塾大学を除く SB が参加
- 11 月 3 日 TOWERS実行委員会 15th IEEE TOWERS (慶應義塾大学)
- 11 月中旬 電気通信大学 スライド書き方講座

Affinity Group Activities

- Young Professionals(YP)
 1. 1 月 27 日 2018 年度東京 YP キックオフ (東京理科大学 葛飾キャンパス)
 2. 2 月 24 日 横浜市次世代育成事業 もの作り教室「みんな知らない波の世界」
(関東学院大 金沢八景キャンパス)
 3. 3 月 21 日 再生医療学会総会 中高生のためのセッションの活動報告
(パシフィコ横浜)
 4. 7 月 7 日 第 3 回ハックチャレンジ (日本大学 文理学部キャンパス)
 5. 7 月 12 日 キャリアナビゲータ (青森県むつ市 第 2 田名部小学校) (Tokyo SIGHT 主催、東京 YP 共催)
 6. 7 月 25 日 COMPSAC 2018 Special Young Professionals Session 開催
(国立情報学研究所(NII))
 7. 8 月 2 日 こども霞が関見学デーでの出張授業 (文部科学省)
 8. 9 月 19 日 第 7 回 STEP Event 企業見学会 (大日本印刷)
 9. 9 月～10 月 第 10 回 キャリアアップに関するエッセイコンテスト
 10. 11 月 3 日 15th IEEE TOWERS 後援 (慶應義塾大学)
 11. 12 月 1 日 Tokyo YP 10th Anniversary Congress
(日本大学 文理学部キャンパス)

● Life Members Affinity Group(LMAG)

1. 1 月 9 日 新 Life Members への昇格お祝いメッセージの送付
2. 1 月中 LMAG-Tokyo ニュースレター (紙媒体) の送付
3. 1 月 31 日 第 1 回役員会開催
4. 3 月 30 日 名古屋支部 LMAG 見学会への協力
5. 3 月 29 日 2018 年 LMAG 総会開催
6. 3 月 29 日 東京支部総会講演会 (第 1 回) を TPC と共催
7. 5 月 15 日 LMAG イブニングサロン (第 2 回) 開催
8. 5 月 23 日 LMAG-Tokyo ニュースレター発行
9. 7 月 5 日 第 3 回東京支部講演会開催 (LMAG 主催 TPC 共催)
10. 7 月 9 日 第 4 回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
11. 8 月 29 日～9 月 2 日
R10 SYWL Congress 2018 (Bali) LMAG 活動の報告
12. 9 月 6 日 第 5 回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
13. 9 月 10 日 LMAG 主催 国立天文台・野辺山宇宙電波観測所
見学会/講演会 (第 6 回)
14. 9 月 27 日 LMAG 主催 電子航法研究所 見学会/講演会 (第 7 回)
15. 10 月 31 日 LMAG 役員候補の信任通知 配信 (10 月 5 日公告)
16. 10 月 31 日 LMAG-Tokyo ニュースレター発行
17. 11 月 8 日 第 8 回東京支部 見学会/講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
18. 12 月 10 日 第 9 回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
19. 12 月 25 日 LMAG 主催日本自動車研究所見学会 (第 10 回)

Awards & Recognition Activities

● 2018 年 新 Fellow 表彰式

2018 年 3 月 29 日 (木) 16 時 20 分～17 時 00 分

2018 年新 Fellow に昇格された 6 名のうち 5 名が表彰式に出席した。

● IEEE Region 10 Awards

- ・ 2018R10 Best Membership Retention Large Section Award : 東京支部が受賞
- ・ 2017R10 Young Professional Affinity Group : 東京支部 YP が受賞(2018.3)
- ・ 2017R10 Young Professionals Outstanding Volunteer in Academic : 東京支部

2015-16YP Chair 西宮幸治郎氏が受賞(2018.3)

- ・ 2018R10 Young Professionals Outstanding Volunteer in Industry Award : 東京支部
- YP Chair 鈴木 麻由美 氏が受賞(2018.8)

● IEEE MGA

- ・ 2018 Outstanding Section Membership Recruitment Performance : 東京支部が受賞

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

IEEE Tokyo Bulletin およびメルマガ発行

- ・ No.109 (3 月 16 日) ・ No.110 (5 月 8 日) ・ No.111 (8 月 24 日)
- ・ No.112 (9 月 25 日) ・ No.113 (10 月 25 日)

2. ホームページ更新

[IEEE東京支部]

[東京支部] 主な更新ページ

- ・ TOP 更新情報 » IEEE 会員資格更新のご案内、"2018 Outstanding Section Membership Recruitment Performance" 受賞のお知らせ、等
- ・ 東京支部について » 概要、役員/理事
- ・ 活動報告 » 総会報告、理事会議事録、Tokyo Bulletin
- ・ 講演会・イベント » 主催・共催講演会、協賛イベント
- ・ お問い合わせ » IEEE 東京支部国内会員へのメール配信について

[Japan Council] 主な更新ページ

- ・ TOP 更新情報 » 2018IEEE Annual Election 投票のお願い、IEEE 会員資格更新のご案内、等
- ・ Japan Council について » 会員構成、理事会構成
- ・ 活動 » 2018 年 IEEE Japan Council 活動計画、主要スケジュール、理事会議事録、Chapter 活動 (Chapter 活動におけるメール配信について)、Young Professionals Coordinator、LMAG Coordinator
- ・ IEEE 表彰制度 » 日本からの IEEE-Level Award 年度別受賞者
- ・ 会員について » Senior Member 昇格要件、Senior Member 申請方法、Senior Member リスト、IEEE Fellow 受賞者
- ・ お問い合わせ » Japan Council 国内会員へのメール配信について、WebEx について、理事専用ページ

[東京支部/JC HP全般]

- ・ Senior Member昇格要件/申請方法

本部 Web Site の変更に伴い、Membership Development Committee(MDC)協力のもと

[Senior Member 昇格要件] ・ [Senior Member 申請方法] 各ページについて適宜更新を行った。(リンク修正や記載事項の重複箇所、不整合箇所の統一)

https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember_requirements.html

https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember_application.html

Membership Development Activities

- 会員維持の取組
 - ・「会員資格自動更新のお願い」をメール配信 (2018 年 7 月 1 日)
 - ・「IEEE Senior Member 昇格申請についてのご案内」を一般会員にメール配信 (2018 年 10 月 18 日)
 - ・「会員資格更新のご案内」をメール配信 (2018 年 10 月 19 日)
 - ・「2020 IEEE フェローノミネーションのお願い」をメール配信 (2018 年 11 月 14 日)

Chapter Activities

- 国際会議の MOU 締結 : 5 件(Joint Chapter) (FCS : 2 件、TCS : 3 件)

Other Organizational Activities

- Region 10 Meeting 2018 が Berjaya Langkawi Resort (マレーシア) で開催され、東京支部より Primary Delegate 笹瀬 Chair が参加した。(3 月 3 日(土)、4 日(日))
- Region 10 SYWL Congress 2018 が Bali (インドネシア) で開催され、東京支部より 10 名が参加した。
内訳 :
東京支部支援 3 名 (LMAG 高野 Vice Chair、YP 鈴木 Chair、竹村氏)
Japan Council 支援 7 名 (Student4 名、WIE2 名、YP Coordinator1 名)
- IEEE Tokyo Section SIGHT 設立
 - ・東京支部における SIGHT 設立の申請が、2018 年 3 月 1 日(木)に Global SIGHT より正式に承認され、SIGHT 設立プレキックオフミーティングを以下の通り開催した。

IEEE Tokyo SIGHT Kick-off Meeting 【参加者 16 名】

日時 : 2018 年 2 月 25 日 (日) 9:30-12:00

会場 : 青山学院大学 相模原キャンパス

 - ・7 月 7 日 第 3 回ハックチャレンジ (日本大学 文理学部キャンパス) (東京 YP 主催、Tokyo SIGHT 共催)
 - ・7 月 12 日 キャリアナビゲータ (青森県むつ市 第 2 田名部小学校) (Tokyo SIGHT 主催、東京 YP 共催)
 - ・11 月 10 日 IEEE WIE ILS 2018 Tokyo (SIGHT Session)

以上

IEEE 東京支部 2018年中間会計(2018/1/1~11/20) ・期末予測 活動ベース

2018.11.28

単位: JPY

期末予測

予算想定レート: US\$1=¥107-

【収入の部】	2018年当初予算	中間 (11/20)	2018年予測	予算比	備考
210 Meetings & Social Events					
定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	76,000	76,000	-	参加費徴収分
310 Rebate from IEEE HQ					
支部Rebate	3,211,776	3,169,462	3,169,462	99%	\$28,639-
YP Rebate	23,540	32,647	32,647	139%	\$295-
LMAG Rebate	31,565	32,648	32,648	103%	\$295-
SB Rebate	0	0	0	-	
Chapter Rebate	1,055,555	967,268	967,268	92%	\$8,735-
320 Region Receipts					
LMAG FUND	107,000	0	107,000	100%	請求中
YP FUND	53,500	61,551	61,551	115%	\$500-
その他 Fund等	0	368,798	422,298	-	SIGHT\$250-、SIGHT HAC\$3,000- (WIE ILS) R10 SYWLサポート \$500-
330 Sections or Councils					
JCからのSection Assessment還元	1,910,121	1,947,468	2,012,234	105%	SA総額の13%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards)					
監査費用サポート	172,800	176,800	176,800	102%	
334 IEEE HQ & Societies					
本部からのSection Assessment受取	14,693,240	15,478,723	15,478,723	105%	\$142,691 (平均レート ¥108.48)
340 雑収入 (CB口座)	7,000	17,231	18,000	257%	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	84	100	3%	
収入合計	21,269,097	22,328,680	22,554,731	106%	

【支出の部】					
410 Meetings & Social Events					
理事会・各委員会費	250,000	25,314	250,000	100%	
その他会費	50,000	0	50,000	100%	
総会運営費用	650,000	589,276	589,276	91%	
講演会開催費用	300,000	302,143	376,000	125%	うち ¥76,000-参加費徴収
480 Student Activities					
SB支援費	700,000	27,773	700,000	100%	
SB Rebate支払	0	0	0	-	
490 Other Program Expenses					
LMAG活動費 (Rebate&Fund&支部補助)	150,000	119,408	150,000	100%	News L費用 (Fund請求予定)
YP活動費 (Rebate&Fund&支部補助)	363,500	0	371,551	102%	
SIGHT (Fund支払)	0	0	368,798	-	
550 Support to Sections/Chapters					
Councilへの拠出金	14,693,240	14,979,026	15,478,723	105%	
Chapter Rebate 支払い	1,055,555	0	967,268	92%	
事務局費1 計	2,324,000	2,130,333	2,324,000	100%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担) 追加6万円 (稼働費20%)
事務局費2 計	136,000	124,667	136,000	100%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	190,546	400,000	117%	監査費用・東京支部用PC購入予定
予備費	700,000	513,585	700,000	100%	R10SYWL 3名支援、YPイベント等 5万+1.6万見込み
支出合計	21,715,095	19,002,071	22,861,616	105%	

収入ー支出	-445,998	3,326,609	-306,885		
前年度からの繰越金	7,263,995		7,263,995		
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,817,997		6,957,110		(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1: 事務局費1~2については予算月割りの暫定額にて報告)

■ 11月20日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	12,956,380
内訳 普通預金	12,425,580
小口現金	20,000
東京YP口座	214,846
CB口座	295,954

IEEE 東京支部 2019 年 活動計画

1. 総会及び理事会

- 2019 年 IEEE 東京支部総会
3 月 27 日(水)14 時 30 分～15 時 00 分 開催予定
- 理事会
以下日程にて開催予定
第 1 回理事会: 2019 年 3 月 27 日(水) 12:00～13:55 機械振興会館
第 2 回理事会: 2019 年 6 月 12 日(水) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋
第 3 回理事会: 2019 年 9 月 30 日(月) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋
第 4 回理事会: 2019 年 12 月 11 日(水) 15:00～17:30 未定(都区内)

2. 財政運営

6年前の円高に対応し、2013-14 年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2018 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2019 年では、会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG (Life Members Affinity Group)、YP (Y (Young Professionals)) ほか各グループとの共催を積極的に推進する。
- Students Branch の支援
東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、

東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部SBがあり(全国合計 32 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

- Young Professionals

2018 年 11 月で設立 10 周年の節目を迎えたことから、次のステップに向けた活発な活動を行う。

- Life Members

3 月 27 日 LMAG 総会 開催予定

LMAG 見学会、サロンなど、引き続き Life 会員の交流を行う。

5. 認定及び表彰支援

- Milestone 認定支援

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

- IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームペー

ジに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。
さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、2018 年には福岡支部にて MAW2018 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2019 年には仙台支部にて MAW2019 開催を予定しているため支部からも参加し成功に向け支援を行う。

8. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

2014 年より着手していた施策である従来 Japan Council に所属していた各 Chapter を適

切な支部に所属させる移行手続きは、本部への申請が 2016 年度に全て完了した。Chapter の移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion Committee は 2016 年より Chapter Operation Committee と改めた。東京支部所管の Chapter に関する MOU 締結審議等の運営支援を継続して行う。

9. 関連組織との連携、協力

- **Japan Council 運営の支援**

国内他支部(8 支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

- **IEEE 本部、R10 との連携**

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

- **ボストン支部およびソウル支部との交流**

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2019年計画案 (活動ベース)

2018.11.22

2019年 :

単位 : JPY

2018年予算 : US\$1 = ¥ 107-

¥105 で試算(18年8月末 TTB¥110 -¥5)

【収入の部】	2018年予算	2018年決算予想	2019年予算案	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	76,000	0	講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,211,776	3,169,462	3,007,095	\$28,639- (予測)
YP Rebate	23,540	32,647	30,975	\$295- (予測)
LMAG Rebate	31,565	32,648	30,975	\$295- (予測)
SB Rebate	0	0	0	
Chapter Rebate	1,055,555	967,268	917,175	\$ 8,735- (予測)
320 Region Receipts LMAG FUND	107,000	107,000	105,000	\$1,000- (予測)
YP FUND	53,500	61,551	52,500	\$500 (予測)
その他 Fund等	0	422,298	0	
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,910,121	2,012,234	2,235,020	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	172,800	176,800	176,800	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,693,240	15,478,723	14,900,130	\$141,906-(2018年前期実績+後期予測)
340 雑収入 (CB口座)	7,000	18,000	9,000	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	100	3,000	
収入合計	21,269,097	22,554,731	21,467,670	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	250,000	250,000	50,000	(18年は12月懇親会分含む)
その他会合費	50,000	50,000	50,000	マイレージ関連費用等
総会運営費用	650,000	589,276	650,000	
講演会開催費用	300,000	376,000	400,000	
480 Student Activities SB支援費	700,000	700,000	700,000	
SB Rebate支払	0	0	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate&Fund & 支部補助)	150,000	150,000	155,975	Fund等込み (支部支出 ¥ 20,000-)
YP活動費 (Rebate&Fund & 支部補助)	363,500	371,551	223,475	Fund等込み (支部支出 ¥ 140,000-)
SIGHT (Fund支払)	0	368,798	0	
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,693,240	15,478,723	14,900,130	
Chapter Rebate 支払い	1,055,555	967,268	917,175	
事務局費1 計	2,324,000	2,324,000	2,500,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	136,000	136,000	175,000	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	400,000	342,800	東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費	700,000	700,000	700,000	
支出合計	21,715,095	22,861,616	21,764,555	
収入－支出	-445,998	-306,885	-296,885	
前年度からの繰越金	7,263,995	7,263,995	6,957,110	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,817,997	6,957,110	6,660,225	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

IEEE 名古屋支部 2018 年活動報告

1. 支部活動

- 2017 年 12 月 23 日 15 時から名古屋大学において総会を開催した。2017 年事業報告および会計報告、2018 年事業計画および予算案が承認された。また、同日 13:00 から第 4 回支部役員会・拡大理事会、16 時から LAMG-Nagoya 講演会、17:00 から懇親会を実施した。
- ・ 2018 年 1 月 23 日にホテルルブラ王山にて、2017 年 IEEE 名古屋支部学生奨励賞受賞者 12 名を表彰した。
 - ・ 2018 年 3 月 3-4 日に Langkawi, Malaysia で開催の Region 10 Meeting に石橋 chair, が出席した。
 - ・ 名古屋支部優秀学生賞について精力的に広報活動を実施した結果、ほぼ昨年同様、7 大学 9 専攻から申請があり、合計 30 名に賞を授与した。
 - ・ 2018 年 3 月 24 日 15 時から名古屋工業大学において第 1 回役員会・拡大理事会を開催し、2018 年活動計画の確認を行った。また、17:00 から懇親会を実施した。
 - ・ 2018 年国際会議研究発表賞（申請締切：2018 年 2 月 28 日。助成対象期間：2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の発表済みまたは発表予定のもの）を公募し、18 件の応募があった。厳正な審査の結果、9 名の受賞者を決定し、上述の第 1 回役員会・拡大理事会に先立ち、7 名の参加者を得て表彰式を実施した。
 - ・ 青色 LED の Milestone 申請について、関係各所と検討を重ねた。その結果、2 年後の豊田合成の「商品化」25 年目となる年をめどに、改めて「商品化」としての申請を働きかける方針を確認した。
 - ・ 2018 年 9 月 1 日 15 時から名古屋大学において第 2 回役員会・拡大理事会を開催した。会計中間報告や若手奨励賞の選考等を実施した。また、17:00 から懇親会を実施した。
 - ・ 名古屋支部若手奨励賞について、3 名の応募があり、厳正な審査の結果、1 名の受賞者を決定した。なお、受賞者には、LMAG 主催の講演会にて講演を依頼することとした。
 - ・ R10 SYWL Congress に名古屋支部から YP Chair の鈴木先生を YP 枠で、YP の中川様を WIE 枠で参加候補者として推薦し、最終的に鈴木 YP Chair が出席した。
 - ・ 平成 30 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会（2018 年 9 月 3 日、4 日に名城大学で開催）の大会委員会および実行委員会に参加し、8 名に IEEE 名古屋支部学生奨励賞授与することを決定した。2019 年 1 月 22 日の第 4 回実行委員会にて表彰予定である。
 - ・ 平成 30 年度電気関係学会北陸支部連合大会（2018 年 9 月 8-9 日に北陸先端科学技術大学院大学にて開催）の実行委員会に参加し、IEEE 名古屋支部学生奨励賞授与を 3 名に授与することを決定した。
 - ・ 2019/2020 役員・理事選挙を実施し、候補者を決定した。12 月の総会において、正式に承認される予定である。
 - ・ 2018 年支部総会を 12 月 22 日(土)に 15:00 から名古屋工業大学で開催する予定である。

また、同日 13:00 から第 3 回支部役員会・拡大理事会、16 時 10 分から LAMG-Nagoya 講演会、17:00 から懇親会を行う予定である。

- ・ WIE の設立に向けて、議論を重ね、2019 年中に設置することを決定した。
- ・ 設置 2 年目の LAMG-Nagoya の活動を支援した。2018 年 3 月 30 日に LAMG 見講演会・学会会 (MRJ ミュージウム) を実施し、LAMG 東京、LAMG 関西からの参加者を含め、14 名の参加を得た。また、2018 年 12 月 22 日の総会時に、支部若手奨励賞をお招きして、LAMG 講演会を実施する予定である。
- ・ 支部 HP の JC サーバ上への移設し、それに伴い URL の変更 (<http://ieee-jp.org/section/nagoya/>) を実施した。11 月より、新サーバ・新 URL で運用中である。
- ・ 会員資格の昇格を推進するために、申請フォーム、記入例などを作成し、Web ページに掲載を行った。
- ・ IEEE President-Elect の petition candidate になられた福田敏男先生の petition 成立に向けて、また、petition 成立後の選挙において、支部メンバーへの周知、および役員・理事メンバーに、各職場において投票へ向けての広報や参加する国際会議でのリーフレット配布の依頼を行った。
- ・ IEEE 名古屋支部の主催・共催・協賛行事において、入会案内を配付、会員増を図った。その結果、7 月には retention goal for the 2018 membership year を達成し、silver medal を、10 月には recruitment goal for the 2018 membership year も達成し、Gold medal を授与された。更に、2018 IEEE Region 10 Awards において、Organization Units 部門において R10 Best Membership Retention Medium Section Award も受賞した。
- ・ 10 月 19 日の IEEE MD Webcast で名古屋支部の活動についてプレゼンしてほしいとの依頼が JC MDC の橋本先生からあり、名古屋支部の MD 活動を中心に、20 分程度の英語プレゼンを実施した。

2. 講演会, 研究会, 国際会議等

[主催・共催行事] 2件

- (1) 平成 29 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会
開催日：2018年9月3日、4日
会場：名城大学
- (2) 平成 29 年度電気関係学会北陸支部連合大会
開催日：2018年9月8日、9日
会場：北陸先端科学技術大学院大学

[協賛行事] 20件

- (1) 2017 年度第六回情報処理学会東海支部主催講演会
開催日：2018 年 1 月 29 日
場所：名古屋大学
主催：情報処理学会東海支部

- (2) 第 18 回東海 3 大学通信系研究室合同修論発表会
開催日：2018 年 2 月 10 日
会場：豊橋技術科学大学
主催：電子情報通信学会東海支部

- (3) 第 44 回東海ファジイ研究会
開催日：2018 年 2 月 18 日、19 日
会場：日間賀島公民館
主催：日本知能情報ファジィ学会東海支部

- (4) 平成 29 年度北陸地区学生による研究発表会
開催日：2018 年 3 月 3 日
会場：金沢工業高等専門学校
主催：学生による研究発表会実行委員会

- (5) 電気学会東海支部若手セミナー
「高臨場感マルチメディアのための情報通信と信号処理」
開催日：2018 年 3 月 6 日
会場：名古屋大学
主催：電気学会東海支部

- (6) 平成 30 年度学生発表会“Midland Student Express”
開催日：2018 年 4 月 20 日
会場：名古屋工業大学
主催：IEEE AP-S Nagoya Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter

- (7) 2018 年第一回情報処理学会東海支部主催講演会
「レッドシリコンバレー/中国深センの I T 最前線現場レポート」
開催日：2018 年 5 月 28 日
会場：ルブラ王山
主催：情報処理学会東海支部

- (8) 第一回エネルギーシステムシンポジウム
「電力システムと生成可能エネルギーの融合に向けて」
開催日：2018 年 6 月 4 日
会場：名古屋大学
主催：名古屋大学未来材料・システム研究所寄付研究部門

- (9) 電子情報通信学会東海支部学生講演会
「遊び、ミニ四駆、ファジィ、人に学ぶシステム」
開催日：2018 年 6 月 6 日
会場：三重大学
主催：電子情報通信学会東海支部

- (10) 電気学会東海支部若手セミナー
「ビッグデータ利用のための情報通信と信号処理」

開催日：2018 年 9 月 26 日
会場：愛知県立大学・学術文化交流センター
主催：電気学会東海支部

(11) IEEE Magnetics Society Distinguished Lecture

「Structural Magnetostrictive Alloys: From Flexible Sensors to Energy Harvesters and Magnetically Controlled Auxetics」

開催日：2018 年 7 月 12 日
会場：名古屋大学
主催：IEEE MAG-S Nagoya Chapter

(12) 2018 年第二回情報処理学会東海支部講演会

「ソースコードの目視評価と解析を組合せた品質評価の取り組み」

開催日：2018 年 7 月 25 日
会場：名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
主催：情報処理学会東海支部

(13) 2018 年第四回情報処理学会東海支部講演会

「量子コンピュータの商用化動向」

開催日：2018 年 10 月 12 日
会場：名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
主催：情報処理学会東海支部

(14) 名古屋大学未来材料・システム研究所第 1 回市民講座

「電気をためる」が世界を変える

開催日：2018 年 10 月 20 日
会場：名古屋大学 IB 電子情報館
主催：名古屋大学未来材料・システム研究所

(15)

(16) The 4th International Conference on Nano Electronics Research and Education(ICNERE2018)

開催日：2018 年 11 月 27 日～29 日
会場：静岡大学浜松キャンパス
主催：Shizuoka University

(17) 平成 30 年度学生発表会“Midland Student Express 2018 Autumn”

開催日：2018 年 11 月 16 日
会場：福井大学文京キャンパス アカデミックホール
主催：IEEE AP-S Nagoya Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter

(18) 2018 年第四回情報処理学会東海支部講演会

「中部電力グループが取り組むサイバーセキュリティ
～社会インフラ防護のためのセキュリティ施策～」

開催日：2018 年 11 月 26 日
会場：東桜会館
主催：情報処理学会東海支部

(19) 第二回エネルギーシステムシンポジウム

「電力システムにおいて蓄電池を駆使する技術」

開催日：2018 年 12 月 3 日

会場：名古屋大学

主催：名古屋大学未来材料・システム研究所寄付研究部門

(20) The 25th International Display workshops(IDW'18)

開催日：2018 年 12 月 12 日～14 日

会場：名古屋国際会議場

主催：The Institute of Image Information and Television Engineers,
The Society for Information Display

3. 支部 Chapter 活動

IEEE Antennas and Propagation Society Nagoya Chapter

(1) 講演会（主催）学生発表会 Midland Student Express 2018 Spring

開催日：2018 年 4 月 20 日（金）

時間：10:00～17:30

場所：名古屋駅前イノベーションハブ

(2) 2018 IEEE International Workshop on Electromagnetics: Applications and Student Innovation Competition (iWEM2018)

開催日：2018 年 8 月 29 日～8 月 31 日

会場：名古屋工業大学 4 号館

(3) 講演会（主催）学生発表会 Midland Student Express 2018 Autumn

開催日：2018 年 11 月 16 日（金）

場所：福井大学文京キャンパス アカデミーホール名古屋工業大学 4 号館

IEEE Magnetics Society Nagoya Chapter

(1) **The 216th Topical Symposium of the Magnetic Society of Japan
The 66th Topical Symposium on MSJ Spinelectronics (協賛)**

開催日：2018 年 1 月 25 日（木）

場所：東京大学 インタナショナルリサーチセンター

(2) **IEEE Magnetics Society Nagoya Chapter, Young Researcher Meeting(主催)**

開催日：2018 年 1 月 31 日（水）

場所：豊橋技術科学大学 A2 館 201 号室

(3) **Joint Workshop of IEEE Magnetics Society Nagoya Chapter &
IEICE Technical Committee on Magnetic Recording, IEEJ Technical Committee
on Magnetics(共催)**

開催日：2018 年 3 月 9 日場所：名古屋大学 IB 電子情報館

(4) **The 218th Topical Symposium of the Magnetic Society of Japan
IEEJ Working Committee on New Spin Device & Storage Using Interaction
Between Photon, Phonon, and Magnon(協賛)**

開催日：2018 年 3 月 18 日

場所：中央大学 駿河台記念館

(5) Special Lecture Meetings(主催)

開催日：2018 年 7 月 12 日（木）

時間：1500～16:30

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

講演者：Prof. Alison B. Flatau (IEEE Magnetics Society 2018 Distinguished

Lecturer)University of Maryland, USAP

演題: Structural Magnetostrictive Alloys: From Flexible Sensors to Energy Harvesters and Magnetically Controlled Auxetics

(6) Special Lecture Meetings(主催)

開催日: 2018 年 7 月 27 日 (金)

時間: 15:00~16:00

場所: 名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

講演者: **Prof. Mitsuteru Inoue (IEEE Magnetics Society 2018 Distinguished Lecturer)** Toyohashi University of Technology, Japan

演題: Magnetic Phase Interference in Artificial Magnetic Lattices: Functions and Applications to Optical, High-Frequency, and Spin Wave Devices

(7) The 219th Topical Symposium of the Magnetic Society of Japan

開催日: 2018 年 8 月 3 日 (金)

時間: 15:00~16:00

場所: 中央大学 駿河台記念館

(8) **Joint Workshop of IEEE Magnetics Society Nagoya Chapter & IEEJ Working Committee on New Spin Device & Storage Using Interaction Between Photon, Phonon, and Magnon**

開催日: 2018 年 9 月 27 日

場所: 大同大学 A 館

(9) **Special Lecture Meeting: Prof. Yoshichika Otani (IEEE Magnetics Society 2018 Distinguished Lecturer)** University of Tokyo, Japan

開催日: 2018 年 10 月 2 日(木)

場所: 豊橋技術科学大学 C 棟

IEEE Intelligent Transportation Systems Society Nagoya Chapter

(1) 講演会 (主催) 2018 年度第 1 回講演会

開催日: 2018 年 8 月 2 日 (木)

時間: 15:00~17:15

場所: 中京大学 名古屋キャンパス 山手ホール

演題: 「運転行動データベースの構築とその活用」

大同大学 情報学部 准教授 宮島千代美 様

「人間の認識能力に倣った環境理解技術」

名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授 平山貴嗣 様

IEEE Microwave Theory & techniques Society Nagoya Chapter

(1) 講演会 (主催) 学生発表会 Midland Student Express 2018 Spring

開催日: 2018 年 4 月 20 日 (金)

場所: 名古屋駅前イノベーションハブ

(2) 第 9 回日本電磁波エネルギー応用学会講演会 -世界ではマイクロ波半導体発振器が

加熱・エネルギー・化学分野でどのように使われているか?- (協賛)

開催日: 2018 年 5 月 25 日 場所: 上智大学 2 号館 17 階

(3) 2018 Thailand-Japan MicroWave

開催日：2018年6月27日～29日

場所：King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL), (タイ・バンコク)

(4) WPT ミニ四駆ドラッグレース

開催日：2018年9月

場所：金沢大学

(5) 名古屋工業大学 ベイ・ジョンソク教授 退職記念講演

開催日：2018年9月20日

場所：東京工業大学

4.Life Member Affinity Group 活動

(1) MRJ ミュージアム見学会

年月日：2018年3月30日 会場：あいち航空ミュージアム内 MRJ ミュージアム

(2) LMAG-Nagoya 講演会 (主催)

年月日：2018年12月22日 会場：名古屋工業大学

講演者：小林健太郎先生 (名古屋大学 工学研究科 情報・通信工学専攻)

演題：「高信頼な無線遠隔制御の実現に向けて～通信と制御のクロスレイヤ最適化～」

5.Young professionals Affinity Group 活動

(1)見学会

2018年7月29日 会場：寒紅梅酒造

(2) ワークショップ

2018年12月8日 会場：名古屋近郊 (調整中)

6. Student Branch 活動

名古屋大学 SB

(1) 一回総会 (6/28) SB 紹介, 活動報告, 新規会員勧誘

(2) (確認中)

静岡大学 SB

(1) (確認中)

福井大学 SB

(1) (確認中)

以上

IEEE Nagoya Section

Financial Interim Report

2018/12/04 JC理事会

INCOME	2018		2019	摘要
	予算 (#1)	決算案	予算案	
Section Assesment	2,400,000	2,615,753	2,500,000	
Section Assessment		2,617,253		
銀行手数料		-1,500		
Section Rebate	850,000	790,670	800,000	
Section Allowance				
Member Rebate				
Chapters w/Acceptable # of Meetings				
10% Bonus				
Less Deductions	-US\$206.77			LMAG Banner
Section Bonus				
Subsection Bonus				
Chapter Bonus				
Affinity Bonus				
Total Rebate		771,466		
銀行取扱手数料		-1,500		
小計		769,966		
R10 MD Incentive Grants		22,204		
銀行取扱手数料		-1,500		
SB Rebate for Nagoya Univ				
銀行取扱手数料				
小計		20,704		
雑収入	291,422	248,164	238,250	
利息		12		
JC_Section支援費(学生奨励賞)	22,500	7,500	56,250	
JC_Section支援費(国際会議研究発表賞)	110,000	120,230	125,000	
JC_Section支援費(若手奨励賞)	37,000	18,500	37,000	
JC_Section支援費(WIE設立準備費)	20,000	0	20,000	
その他	101,922	101,922		(#2)
収入合計 (A)	3,541,422	3,654,587	3,538,250	
前年からの繰越 (B)	1,004,218	1,004,218	1,074,565	
(C) = (A) + (B)	4,545,640	4,658,805	4,612,815	

#1) 2018/03/19 JC総会報告

#2) 2017年Section支援費(学生奨励賞実費+若手奨励賞申請額-2016年若手払戻)

IEEE Nagoya Section

Financial Interim Report

2018/12/04 JC理事会

EXPENDITURE	2018		2019	摘要
	予算 (#1)	決算案	予算案	
Japan Councilへの拠出金	-2,088,000	-2,275,294	-2,125,000	還元率13%/15%
事務経費	-40,000	-28,395	-25,000	
郵送費・事務作業費		-5,000		
Webページ・サーバ維持管理費		-3,395		
送金手数料		-20,000		
会合費	-330,000	-342,379	-340,000	
役員会・幹事会・総会	-50,000	-50,000	-50,000	
主催・共催・協賛事業	-200,000	-180,000	-180,000	
東海支部連合大会分担金	-50,000	-149,561	-150,000	
東海支部連合大会分担金余剰金返金		67,182	70,000	
北陸支部連合大会分担金	-30,000	-30,000	-30,000	
北陸大会連合大会分担金余剰金返金		0		
交通費	-250,000	-120,000	-150,000	
役員会・幹事会・総会・JC会議		-120,000		
活動費	-911,000	-818,172	-966,500	
学生奨励賞	-45,000	-43,247	-112,500	
国際会議研究発表賞	-220,000	-240,461	-250,000	
若手奨励賞	-74,000	-37,000	-74,000	
YP活動費	-100,000	-100,000	-100,000	
LMAG活動費	-100,000	-100,000	-100,000	
WIE設立準備費	-40,000	0	-40,000	
名古屋大学SB	-100,000	-100,000	-100,000	
静岡大学SB	-50,000	-50,000	-50,000	
福井大学SB	-50,000	-50,000	-50,000	
Chapter Rebate	-70,000	-87,464	-80,000	AP, ITS, MAG, MTT
Chapter Bonus	-10,000	0		
SB Rebate	-20,000	0		
その他	-30,000	-10,000	-10,000	
雑費	-2,000	0	-2,000	
支出合計 (D)	-3,621,000	-3,584,240	-3,608,500	
次年繰越金 (E)	-924,640	-1,074,565	-1,004,315	
(F) = (D) + (E)	-4,545,640	-4,658,805	-4,612,815	
当年収支 (A) + (D)	-79,578	70,347	-70,250	
Balance (C) + (F)	0	0	0	

#1) 2018/03/19 JC総会報告

IEEE 名古屋支部 2019 年活動計画

1. 支部活動

Office・Secretary

- 1) 名古屋支部における事業の活性化・充実を図る。また、名古屋支部会員の一層の拡大を目指して広報活動を行う。さらに、IEEE Japan Council, IEEE他支部, 各Chapter, 関連学会との連携を進め、会員へのサービス業務の一層の充実に努める。
- 2) Chapter設立に向けて働きかけを行う。
- 3) Fellow NominationとSenior Memberへの昇格について、Webページによる広報、支部推薦制度を活用し、積極的な勧誘を行う。
- 4) IEEE名古屋支部学術奨励賞の拡充を図る。
- 5) Student Branch 新設に向けて働きかけを行う。
- 6) 2017 年度に設置させた LMAG-Nagoya の活動定着を引き続き図る。
- 7) 支部に WIE を設立するとともに、その活動定着を支援する。
- 8) 青色発光ダイオードをはじめ、いくつかのMilestone 候補について、継続的に関係者との調整を進め、Milestone申請を関係者に積極的に働きかける。
- 9) 長年、支部の活動に協力をいただいた企業を対象に、Supporting Friend of IEEE MGA Awardの申請を検討する。

Member Advancement and Nomination Committee

- 1) 2019 年 4 月および 10 月に Senior Member および Member に「会員資格昇格のおすすめ」を送付し、Fellow Nomination と Senior Member へのグレードアップを推進する。
- 2) グレードアップ申請を定期的に会員に呼びかけると共に、Web ページにより、申請手順の周知を図る。特に Senior Member へのグレードアップでは、支部推薦の Reference は 2 名(通常 3 名)で良いことなどを積極的に伝える。
- 3) Senior Member へグレードアップをするには、Reference が候補者自身、またはその成果を詳しく知っていることが重要である。両者の関係に応じて Application/Nomination Form for Senior Member Grade と Senior Member Grade Reference Form のひな形を役員会で幾つか用意して Web ページで公開するとともに、その旨を Member に伝えてグレードアップを強力に促進する。
- 4) 会員昇格申請に関する一般的な相談に応じるとともに、Nominator や Reference を見つけることが困難な場合には、紹介などの手伝いをする。

Membership Development Committee

- 1) 主催・共催・協賛行事において、入会案内を配付して会員増を図る。
- 2) Student Branch (名古屋大学, 静岡大学, 福井大学) 活動活性化や新設, および支部優秀学生賞拡充等を通して会員増を図る。(SACと連携)

Technical Activities Committee

- 1) 支部内の大学や企業の会員活動の活発化と会員増に努める。(MDCと連携)
- 2) 学術講演会, 研究会等の主催・共催・協賛・後援を積極的に進める。年20回を目標とする。
- 3) メーリングリストを活用し、主催・共催行事を会員に周知する。
- 4) JC History Committee委員と連携して、Milestone申請を積極的に働きかける。

Award Committee

- 1) 電気・電子・情報関係学会東海支部大会においてIEEE 名古屋支部学生奨励賞 (Student Award) を授与する.
- 2) 電気関係学会北陸支部連合大会においてIEEE名古屋支部学生奨励賞 (Student Award) を授与する. 北陸地区会員等を対象とする情宣を強化する.
- 3) 国際会議研究発表賞および若手奨励賞を周知し, 募集を行う.

Student Activities Committee

- 1) 名古屋大学, 静岡大学, 福井大学 SB の活動をさらに活発化させる.
- 2) 他大学に SB 設立を働き掛ける.
- 3) SB と学生会員の活動を対象に設けた活動支援費制度を活用し, 支援を行う.
- 4) 各大学における優秀学生賞の普及に努める.
- 5) これらの活動を通して会員増を図る. (MDCと連携)

Chapter Committee

- 1) 支部Chapter設立への働きかけを積極的に行う.
- 2) JC傘下Chapterの支部傘下への移行に対処する.

2. 役員会, 理事会, 支部総会

- 1) 支部理事会/ Annual Meeting (総会) を2018年12月22日に開催し, 2019年事業計画案および予算案を審議する.
- 2) 支部役員会・理事会を3回程度開催する. 理事会は支部Chapter Chair, YP Chair, LMAG Chair, WIE Chair を加えて拡大理事会とする.

2019-2020 年 IEEE Nagoya Section 役員・監事・常設委員会委員長・理事 (案)

◎役員・理事 (Officers, Section Executive Committee Members)

Chair	穂積 直裕	豊橋技術科学大学・教授
Vice Chair	中沢 憲二	金沢工業大学・教授
Secretary	佐藤 淳	名古屋工業大学・教授
Treasurer	早川 直樹	名古屋大学・教授
Auditor	小澤 隆弘	豊田中央研究所・主席研究員

◎ 監事・理事 (Auditor, Section Executive Committee Members)

Auditor	小澤 隆弘	豊田中央研究所・主席研究員
----------------	-------	---------------

◎ 常設委員会委員長・理事 (Standing Committee Chairs , Section Executive Committee Members)

Member Advancement and Nomination Committee	村本 裕二	名城大学・教授
Membership Development Committee	舟洞 佑記	名古屋大学・助教
Technical Activities Committee	佐々木 邦彦	デンソー・技術戦略企画室担当次長
Student Activities Committee	内藤 克浩	愛知工業大学・准教授
Award Committee	岡本 英二	名古屋工業大学・准教授
Chapter Operation Committee	長谷川 英之	富山大学・教授

理事会選出理事

Past Chair	古橋 武	(名古屋大学・教授)
Past Chair	間瀬 健二	(名古屋大学・教授)
History Committee Chair	長尾 雅行	(豊橋技術科学大学・教授)
Technical Activities Committee Vice Chair	高橋 泰岳	(福井大学・准教授)

(参考)

支部 Chapter 役員

IEEE Antennas and Propagation Society Nagoya Chapter (APS)

Chair:	桑原 義彦 (静岡大学)
Vice Chair:	野口 啓介 (金沢工業大学)
Secretary:	後藤 由貴 (金沢大学)
Treasurer:	松沢 晋一郎 (豊田中央研究所)

IEEE Magnetism Society of Japan Nagoya Chapter (MAG)

Chair:	岩田 聡 (名古屋大学)
Vice Chair:	井上 光輝 (豊橋技術科学大学)
Secretary and Treasurer:	加藤 剛志 (名古屋大学)

IEEE Microwave Theory and Techniques Society Nagoya Chapter (MTT)

Chair:	関根 敏和 (岐阜大学)
Vice Chair:	田村 昌也 (豊橋技術科学大学)

Secretary: 久武 信太郎 (岐阜大学)
Treasurer: 樫村 京一郎 (中部大学)
Technical Committee Chair : 吉村 武朗 (サイダ・FDS)

IEEE Intelligent Transportation Systems Nagoya Chapter (ITS)

Chair: 小栗 宏次 (愛知県立大学)
Vice Chair: 加藤 良文 (デンソー)
Secretary: 吉村 貴克 (豊田中央研究所)
Treasurer: 三浦 純 (豊橋技術科学大学)
Technical Committee Chair : 目加田 慶人 (中京大学)
Advisory Board : 村瀬 洋 (名古屋大学)
武田 一哉 (名古屋大学)
脇田 敏裕 (豊田中央研究所)

支部 Life Member Affiliate Group (LMAG) 役員

Chair: 稲垣 康善 (名古屋大学・豊橋技術科学大学名誉教授)
Vice Chair: 市川 雅也 (元三菱重工)
Secretary: 水野 彰 (豊橋技術科学大学)

支部 Young Professionals (YP) 役員

Chair: 鈴木 拓央 (愛知県立大学)
Vice Chair: 山田 剛史 (豊田自動織機)
Secretary: 李 載始 (中部大学)
Vice Secretary: 伊藤 孝弘 (名古屋工業大学 博士後期課程)
Treasurer: 伊東 健一 (豊田中央研究所)
Vice Treasurer: 久保田 直樹 (名古屋大学 博士前期課程)

以上

IEEE 関西支部 2018 年活動報告

2018 年 12 月 4 日

IEEE 関西支部

1 運営活動

1.1 理事会

2019 年に理事交代があるため、交代への準備活動を加えて 2018 年は年間 6 回の理事会を計画。2019 年は年間 5 回の理事会開催を計画する。2018 年の実施状況は以下の通り。

- ・ 第 1 回 1 月 30 日 (火) @関西大学梅田キャンパス 7 階 703 会議室 (参加 13 名)
2018 年活動・予算計画の確認、関西支部総会準備
- ・ 第 2 回 2 月 28 日 (水) @関西大学梅田キャンパス 8 階大ホール (参加 15 名)
関西支部総会準備 (段取り、資料の最終確認)
- ・ 第 3 回 5 月 28 日 (月) @関西大学梅田キャンパス 7 階 703 会議室 (参加 14 名)
YP 賞・学生研究奨励賞の公募要領審議、2019 役員候補選出のため Executive Nomination Committee (ENC) 設立、会計報告
- ・ 第 4 回 7 月 24 日 (火) @関西大学梅田キャンパス 6 階 605 会議室 (参加 13 名)
JC 理事会からの情報展開、JC MDC からの情報展開
- ・ 第 5 回 9 月 10 日 (月) @関西大学梅田キャンパス 7 階 702 会議室 (参加 14 名)
ENC による役員候補確認と公示準備、各 Committee / Affinity Group の Chair 候補確認、Supporting Friend of IEEE 受賞の確認と表彰式計画
- ・ (予定) 第 6 回 12 月 21 日 (金) @関西大学梅田キャンパス 7 階 701 会議室
2019 年活動計画審議、2018 年決算確認、2019 年予算審議

1.2 総会

例年通り、2 月に年次総会を実施し、前年の活動状況、当年の活動計画を報告し承認された。2019 年は 2 月 22 日に実施予定。

- ・ 2018 年 2 月 28 日 (水) @関西大学梅田キャンパス 8 階大ホール (参加 58 名)
資料<<https://ieee-jp.org/section/kansai/activity/members/pdf/annual2018.pdf>>
 - 関西支部 2018 年活動報告、2019 年活動計画
 - 各 Committee, Affinity Group 2018 年活動報告、2019 年活動計画
 - 各 Chapter 2018 年活動報告、2019 年活動計画
 - 関西支部 2018 年決算報告、2019 年予算計画以上の各報告・計画につき承認された、
 - Young Professionals 賞、学生研究奨励賞 表彰式
 - 新 Senior Member 紹介
 - 新 Fellow 紹介と研究内容につき記念講演

2 SB および AG の活動

例年の活動に加えて SB 間の研究交流会を開始した。また、SB と LMAG との世代を超えた交流イベントが活発化しており、今年度は SB 英語プレゼンテーション大会での LMAG メンバー評価による優秀プレゼンテーションの表彰等の活動が追加された。

- ・ 関西支部 SB 研究交流会

7月15日(日) @兵庫県立大学先端医工学研究センター

関西支部の7つのSB(京都大学、大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学、兵庫県立大学、関西大学、同志社大学)が集まり、大学の紹介、代表者2名の研究紹介を実施、SB間の交流を図った。

- ・ Region10 SYWL Congress 2018 参加

8月30日(木)～9月2日(火) @Bali, Indonesia

関西支部より1名(京都大学 SB Chair)が参加。Poster Competition での活動紹介などに参加し、他国での SB 活動の知見が得られるなど有意義な活動となった。

- ・ IEEE Kansai WIE Symposium 2018

9月29日(土) @大阪工業大学梅田キャンパス

工学系・情報系で活躍する女性研究者たちの活動を紹介するとともに、女性研究者・若い世代の女性たち・女性の活躍の支援者などの交流の場を設けることにより、理系の中でも、まだまだ女性の少ない理工系分野でのキャリアの魅力を発信。

- ・ SB、LMAG 合同ブレインストーミング大会(台風24号の影響により中止)

9月30日(日) @立命館大学梅田キャンパス

発想工程の手法を講習・実践し、その利点や課題を学習する。

- ・ (予定) 立命館 SB 英語プレゼンテーション大会

11月16日(金) @立命館大学びわこ・くさつキャンパス

日頃の研究成果を英語で口頭発表する機会を設け、当該分野の研究活動を活発にするとともに、学生の国際学会での発表活動を促進する。立命館大学で主催であるが多くの大学から参加し、工学系の分野を広く対象とする。優れたプレゼンテーションに対しては LMAG より表彰を行う。

3 技術講演会

年間5回の技術講演会を計画。今年度は企業（パナソニック、NTT）からの講演2件を実施し、Industryとの連携を計った。2019年も同等の活動を計画する。

- ・ 第101回技術講演会

テーマ： テクニクス 感性価値創造への挑戦 ～技術と心をつなぐ～

小川 理子 パナソニック（株）執行役員

3月26日（月）@松下幸之助歴史館、パナソニック Wonder LAB Osaka

- ・ 第102回技術講演会

テーマ： カルチュラルコンピューティングからアートイノベーションへ

土佐 尚子 京都大学情報環境機構 教授

5月14日（月）@京都高度技術研究所（ASTEM）

- ・ 第103回技術講演会（ワークショップ）

テーマ： 人工知能の実世界応用の基礎と展開

基調講演： 私が観て体験した人工知能

白井 良明 立命館大学教授

チュートリアル講演：

画像認識への機械学習・ディープラーニング応用 松尾 直志 博士（立命館大学）

音声認識への機械学習・ディープラーニング応用 福森 隆寛 博士（立命館大学）

7月31日（火）@立命館大学びわこ・くさつキャンパス クリエーションコア

- ・ 第104回技術講演会

テーマ： NTT 研究所における R&D の取組みについて

伊藤 新 NTT 情報ネットワーク総合研究所 所長

10月2日（火）@グランフロント大阪（見学会）、立命館大学梅田キャンパス（講演会）

- ・ 第105回技術講演会

テーマ： "Who You Are and How to Be Your Best"

Karen Bartleson 2017 IEEE President and CEO

11月12日（月）@大阪工業大学梅田キャンパス

4 表彰

関西支部では、各年の受賞者を翌年の年次総会において表彰している。2018 年 2 月 28 日の総会において、下記各賞の表彰式を執り行った。

- ・ **Young Professionals 賞：**
技術分野の発展に貢献した若手会員を対象に表彰。2017 年には産業界と学界から 1 名ずつ合計 2 名を表彰し、産業界からの表彰は初となった。
- ・ **学生研究奨励賞：**
第 1 著者であり、原則本人の登壇により優れた英文論文を発表した学生会員を対象に、2017 年には合計 9 名が表彰された。
- ・ **新 Senior Member への記念品贈呈：**
あらたに Senior に昇格した関西支部の会員に記念としてメダルを贈呈している。2017 年は 9 名の会員が Senior に昇格された。
- ・ **新 Fellow Member の記念講演：**
あらたに Fellow に昇格した会員から記念講演をいただいている。2017 年は 3 名が新に Fellow に昇格されたが、ご都合により 1 名欠席され 2 名より講演いただいた。

関西支部創立から支部の運営に貢献してきた企業 6 社 (NTT, パナソニック, シャープ, 住友電工, 関西電力, 三菱電機) に対して、2018 Supporting Friend Award of IEEE MGA を申請し、IEEE 本部より認められた。既に各社に対して Plaque が贈られているが、改めて 2019 年 2 月 22 日に関西支部年次総会に合わせて表彰式を計画。表彰式および表彰パーティーには、IEEE 本部 福田 President Elect、R10 西原 Director、JC 尾上 Chair にご出席いただけることとなった。

2018 年第 3 回 Japan Council 理事会資料 (7-6)

5 2018 年決算

2018年 収入	計画値	実績値	
◆IEEE Entity間勘定	1,843,420	1,782,773	収入内容 TTBレート(¥/\$)
・ Section Rebate (IEEE本部より)	1,678,655	1,497,825	\$13816.30 (Chapter Rebate&Bonus, AG Rebate&Bonus含む)
		52,940	LMAG Reimbursement:\$700
▲Chapter Rebate支払	▲ 364,100	▲ 358,837	(\$ 200X13)X1.1+ \$ 75X6= \$ 3,310 (6Chapter:\$75)
▲Affinity Group Rebate支払	▲ 89,100	▲ 63,962	(\$ 200X2)X1.1+\$75X2= \$ 590 :LMAG,WIE (ActivityBonus(\$75X2)=\$150) (YP=\$0)
・ SB Rebate	95,480	99,000	\$900
▲SB Rebate支払	▲ 95,480	▲ 99,000	
・ Section Rebate 小計	1,225,455	1,127,966	
・ Section Assessment 2018前後期	4,099,728	4,162,188	前期: \$38,581.65 (国内:¥4,162,188 at 4/25)
		111,804	後期: \$1,007.06 (国内: ¥111,804 at 10/25)
▲Japan Council拠出金+手数料	▲ 3,566,763	▲ 3,621,104	前期: JCへ:¥3,619,172(振込5/12) ・被仕向送金手数料:¥1,500 ・手数料:¥432
		▲ 97,269	後期: JCへ:¥96,838(振込 /) ・手数料:¥432
・ Section Assessment小計	532,965	555,619	13%還元残高
・ LMAG Fund	11,000	0	Fund関連
・ WIE Fund	44,000	44,188	\$400 (R10 WIE Support Fund)
・ YP Fund	30,000	0	Fund関連
・ AG Fund 小計	85,000	44,188	
R10 SYWL2018 Congress support	0	55,000	R10 SYWL2018 1名参加 (\$ 500)
◆Japan CouncilからのSection支援 (Fund)	360,000	280,000	
・ Section支援(WIE)	100,000	80,000	
・ Section支援(SB)	130,000	100,000	
・ Section支援(SB)	30,000	0	→台風のため中止
・ Section支援	100,000	100,000	(振込: 4/27)
小計	2,203,420	2,062,773	
◆2017年からの繰越金	2,913,616	2,913,616	
合計	5,117,036	4,976,389	
想定レート: 110円/\$			

2018年 支出	予算値	実績値	
◆会合・AWARD・活動 費	2,513,500	1,757,066	支出内容
関西支部活性化費	500,000	320,000	Chapter支援費(CES) 若手奨励賞(IEEE GCCE2017) Region 10 SYWL Congress @ Bali 学生派遣費用
総会開催費	450,000	436,868	会場費、資料代金、学生交通費、メダル発送、懇親会費
▲総会懇親会費徴収	▲ 200,000	▲ 175,000	総会懇親会 (5,000×35名)
技術講演会	50,000	26,501	礼金、会場費
理事会費	300,000	95,404	会場費、弁当代
Committee会合費	250,000	159,352	MDC/SAC/YP合同会議、関西支部COCミーティング
総会メダル、研究奨励賞	333,500	274,401	学生研究奨励賞賞金、YP賞メダル、関西支部メダル
SB 支援費	400,000	310,060	SB Chairミーティング、研究交流会、英語プレゼン大会
LMAG 支援費	150,000	99,480	講演会手土産、謝礼、交通費等
WIE 支援費	200,000	210,000	WIE Symposium, WIE ILS@Tokyo
YP 支援費	80,000	0	
R10 Meeting派遣費	0	0	
◆事務経費	42,000	42,000	合計
・ 外部監査費	0	0	外部監査不要
・ 事務用品費	2,000	2,000	
・ 旅費	20,000	20,000	各種旅費支援
・ 通信費	20,000	20,000	郵送費、宅急便等
◆雑費	25,000	16,492	為替手数料、振込手数料、他
小計	2,580,500	1,815,558	小計
◆2019年への繰越	2,536,536	3,160,831	2019年への繰越 (4,946389-1,815,558)
合計	5,117,036	4,976,389	合計
想定レート: 110円/\$、単位: 円			

2018 年第 3 回 Japan Council 理事会資料 (7-6)

6 2019 年予算

2019年 収入の部		想定レート：110円/\$、単位：円
◆IEEE Entity間勘定	1,808,007	内容
・ Section Rebate (IEEE本部より)	1,543,993	・ 2018年実績から：\$ 14,036.3 (Chapter Rebate&Bonus: \$ 3,310, AG Rebate&Bonus: \$ 810 含む)
▲Chapter Rebate支払	▲ 364,100	(\$ 200X13)X1.1+ \$ 75X6= \$ 3310
▲Affinity Group Rebate支払	▲ 89,100	(\$ 200X3)X1.1+ \$ 75X2= \$ 810
・ SB Rebate	99,000	\$900 (2018年から算出)
▲SB Rebate支払	▲ 99,000	
・ Section Rebate 小計	1,090,793	
・ Section Assessment 2018前後期	4,354,758	2018年実績から 前期:\$38,581.65,後期:\$1,007.06
▲Japan Council拠出金+手数料	▲ 3,701,544	Assesment入金85% (2019年から15%はSectionに還元)
・ Section Assessment小計	653,214	2019年から15%還元残高
・ LMAG Fund	10,000	Fund関連
・ WIE Fund	44,000	\$400 (IEEE R10 WIE Support Fund)
・ YP Fund	10,000	Fund関連
・ AG Fund 小計	64,000	
◆Japan CouncilからのSection支援 (Fund)	508,000	
・ Section支援(WIE)	100,000	Kansai WIE Symposiumの半額支援
・ Section支援(SB)	130,000	英語プレゼン大会の半額支援
・ Section支援(SB)	30,000	ブレーンストーミングコンテスト大会の半額支援
・ Section支援	100,000	Friend Award 授賞式(会場費、交通費、懇親会費)の半額支援
・ Section支援 (総会メダル代、研究奨励)	148,000	2019年 2月実施 半額支援 ・ YP賞メダル (¥12,000/個、3個) ・ 関西支部メダル (¥10,000/個、6個) ・ 学生研究奨励賞 (¥20,000/人、10人)
小計	2,316,007	
◆2018年からの繰越金	3,160,830	
合計	5,476,837	

2019年 支出	予算値	
◆会合・AWARD・活動 費	3,189,000	支出内容
関西支部活性化費	550,000	会員増強対策費、MAW派遣支援、Japana SYWL学生派遣
総会開催費	600,000	会場費、資料代金、学生交通費、メダル発送、懇親会費
▲総会懇親会費徴収	▲ 200,000	総会懇親会 (5,000×40名想定)
Friend Award 授賞式	200,000	会場費、交通費、懇親会費 (6社+IEEE関係者)
技術講演会	50,000	礼金、会場費
理事会費	250,000	会場費、弁当代 (5回開催を想定)
Committee会合費	250,000	MDC/SAC/YP合同会議、関西支部COCミーティング
総会メダル、研究奨励賞	384,000	学生研究奨励賞賞金、YP賞メダル、関西支部メダル
SB 支援費	405,000	SB Chairミーティング、研究交流会、英語プレゼン大会等
LMAG 支援費	150,000	LMAGサロン、LMAG賞 (年初AG Rebete, Fundを除く)
WIE 支援費	200,000	WIE Symposium, WIE ILS@Tokyo (年初AG Rebete, Fundを除く)
YP 支援費	50,000	YP WS (年初AG Rebete, Fundを除く)
R10 Meeting派遣費	300,000	旅費、滞在費
◆事務経費	42,000	合計
◆雑費	25,000	為替手数料、振込手数料、他
小計	3,256,000	小計
◆2020年への繰越	2,220,837	
合計	5,476,837	合計
想定レート：110円/\$、単位：円		

平成 30 年 11 月 21 日

2018 年 IEEE Shikoku Section 活動報告

Chair 濱村 昌則

1. Annual Meeting

2018 年 9 月 22 日(土)12:10~12:40, 愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 C EL16 教室

2019-2020 年 四国支部役員選挙, 2018 年活動中間報告, 会計中間報告, 第 1,2 回 JC 理事会報告
参加者 30 名

2. Meetings

(1) Committee Meeting

・第 1 回役員会(4/18(水))

2018 年度活動計画, 予算, 次期役員選定手順等, 参加者:役員 5 名

・平成 30 年度電気関係学科四国支部連合大会第 1 回実行委員会 (5/19(土): 愛媛大学)

連合大会実施計画, 運営体制など

今回は, 情報処理学会四国支部 30 周年記念事業の特別講演会が開催された.

・平成 30 年度電気関係学会四国支部連合大会第 2 回実行委員会 (8/6-16:Email)

座長・プログラム案, 企業からの支援, 当日の実施計画等.

・第 2 回役員会(9/22:愛媛大学城北キャンパス)

活動及び会計中間報告, 英語ブラッシュアップセミナー, 2020 年 IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering (TALE) 四国開催の Co-sponsorship について議論 (基本的に Co-sponsor に入る方向)

・平成 30 年度電気関係学会四国支部連合大会臨時実行委員会 (9/25-10/5:Email)

大会優秀発表賞 9 名, 英語発表奨励賞 2 名(全投稿数 246 件, うち英語発表 21 件中)の決定

・第 3 回役員会(12/16 予定:愛媛大学城北キャンパス)

実施報告, 決算, 今後の大会運営

(2) Technical Meeting (4 件)

(2-1) 講演会 (主催)

「UX デザインによるストーリーがもたらすイノベーション」中道上 (福山大学)

2018 年 5 月 30 日(水)14:40-18:00, 高知工科大学香美キャンパス

情報処理学会四国支部と共同主催, 参加者 22 名

(2-2) 講演会 (主催)

「Acceleration Techniques for SI/PI/EMI Simulation and Exploitation to the Automotive Design」 浅井 秀樹 (静岡大学)

2018 年 11 月 6 日(火)16:30-17:30, 香川大学創造工学部 4301 講義室, 参加者 20 名
IEEE CASS Shanghai and Shikoku Chapters Joint Workshop on Circuits and Systems (SSJW'18, 11/5-7, 高松) の特別講演として実施

(2-3) シンポジウム (共催)

サイバーセキュリティシンポジウム道後

2018 年 3 月 1 日(木)・3 月 2 日(金)

愛媛県松山市内 道後地区ほか, 愛媛大学城北キャンパス, ホテルメルパルク松山

主催:サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

(実行委員:愛媛大学, 株式会社愛媛 CATV, 株式会社愛媛新聞社, 西日本電信電話株式会社 愛媛支店, 愛媛県, 愛媛県警察本部, 松山市, 総務省四国総合通信局)

情報セキュリティ大学院大学, 国立情報学研究所, 一般社団法人情報処理学会四国支部, IEEE四国支部, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 愛媛大学, 総務省四国総合通信局

参加者数:約 1200 名

(2-4) 学術大会(主催)

タイトル:「2018 電気関係学会四国支部連合大会」

期日:2018 年 9 月 22 日 9:00-19:00(懇親会含む)

場所:愛媛大学城北キャンパス

主催:電気学会四国支部, 電子情報通信学会四国支部, 情報処理学会四国支部, 照明学会四国支部, 映像情報メディア学会四国支部, 計測自動制御学会四国支部, IEEE Shikoku Section, 電気設備学会四国支部

投稿件数:246 件(参加者数は 12/16 報告予定)

(3) CAS Society 四国チャプタ 主催/協賛イベント

(3-1) IEEE Workshop on Nonlinear Signal Processing (NSP'18) (主催)

日時: 2018年2月5日(月)

場所: Sunport Hall Takamatsu (高松)

主催: IEEE CASS Shikoku Chapter

(3-2) 講演会 (主催)

演題: 疼痛データバンク構築とデータの利活用に関する取り組み

講師: 青野修一 (愛知医科大)

日時: 2018年5月10日(木) 11:00-12:00

場所: 徳島大学 理工学部 電気電子棟 知能電子ゼミ

(3-3) 講演会 (協賛)

演題: 非線形回路理論を用いた生物模倣ハードウェアの設計

講師: 鳥飼弘幸 (京都産業大)

日時: 2018 年 2 月 23 日(金) 10:30-11:30

場所: 徳島大学 理工学部 電気電子棟 知能電子ゼミ

主催: 電子情報通信学会四国支部

(3-4) 国際会議 International Forum on Advanced Technologies (IFAT'18) (協賛)

演題: 非線形回路理論を用いた生物模倣ハードウェアの設計

講師: 鳥飼弘幸 (京都産業大)

日時: 2018 年 3 月 8 日(木)-9 日(金)

場所: 徳島大学 理工学部

主催: 徳島大学, 国立台湾科技大学

(3-5) 講演会 (協賛)

演題: Synchronization in networks of chaotic systems

講師: Christopher Diego Cruz Ancona (Center for Research and Advanced Studies of the National Polytechnic Institute, Mexico)

日時: 2018 年 5 月 22 日(火) 17:00-18:00

場所: 徳島大学 理工学部 電気電子棟 知能電子ゼミ

主催: 電子情報通信学会四国支部

(3-6) 講演会 (協賛)

演題: Fractional order chaotic systems and synchronization

講師: Claudia Alejandra Perez Pinacho (Center for Research and Advanced Studies of the National Polytechnic Institute, Mexico)

日時: 2018 年 5 月 22 日(火) 16:00-17:00

場所: 徳島大学 理工学部 電気電子棟 知能電子ゼミ

主催: 電子情報通信学会四国支部

(3-7) 講演会 (協賛)

演題: あなたの創造でつくる楽しみを与えるアンサンブルの採譜技術

講師: 田中衛 (上智大学)

日時: 2018 年 12 月 6 日(木) 14:30-15:30

場所: 徳島大学 共通講義棟 K301講義室

主催: 電子情報通信学会四国支部

2. 各コミッティの活動

(1) Membership Development

若手・学生等への会員増強策を検討中.

(2) Student Activities

(2-1) 英語ブラッシュアップ講座の開催

英語を母国語としない学生が英語で学会発表するための発表講習および発表後のアドバイスなどを行い英語によるプレゼンテーション能力向上を目指す. 具体的には, 学生向けの英語発表講習会を各県大学で実施中(一部は連合大会向け, 一部はその他国際会議向け).

(2-1-1)高知工科大学

日時:2018 年 9 月 19 日(水)14:00-17:50

場所:高知工科大学研究教育 A 棟 A110 教室

講師:長崎政浩 (高知工科大学 共通教育教室 教授)

(2-1-2)香川大学

日時: 2018 年 9 月 11 日(火) 13:00-14:30

場所: 香川大学工学部講義棟 3 階 3302

講師: Nick Fry 氏 (香川大学非常勤講師)

(2-1-3)愛媛大学

日時: 2018 年 10 月 29 日(月) 16:20-17:50

場所: 愛媛大学工学部 5 号館 9 階 E591 号室

講師: Mark Duane Stafford (愛媛大学 英語教育センター 准教授)

徳島大学は, 来年度前半に開催予定.

(3) Nominations

Fellow 推薦および Senior Member へのアップグレード申請の支援

次期役員推薦のための Nomination Committee の運営

(4) Professional Activities

講演会, 講習会などを検討中

II. 会計報告

2018 年 11 月 20 日現在				
		実績	予定	備考
収入	Section Rebate	¥358,770	¥370,000	2018 年 6 月 18 日入金
	Section Assessment	¥429,910	¥400,000	2018 年 4 月 25 日入金
	SYWL 補助費	¥56,325	¥0	
	その他(利息)	¥21	¥20	
	2018 年収入小計(a)	¥845,026	¥810,020	
	2017 年残高の繰越(d)	¥2,285,219	¥2,178,401	
	2018 年総収入(b) = (a) + (d)	¥3,130,245	¥2,988,421	
支出	講演会等共催負担金	¥92,245	¥200,000	2 万円(セキュリティシンポジウム道後) + 旅費等
	英語ブラッシュアップ講座運営費	¥66,822	¥90,000	
	会合開催費	¥22,770	¥150,000	役員会旅費等
	事務局運営費	¥10,872	¥20,000	振込手数料等
	Japan Council への拠出金	¥372,090	¥400,000	
	四国支部連合大会分担金	¥110,000	¥110,000	2018 年 6 月 22 日支払
	SYWL2018 参加旅費	¥237,510	¥0	
	CAS Chapter Rebate	¥32,323	¥40,000	
	2018 年支出小計(c)	¥944,632	¥1,010,000	
	2018 年単年度収支(a) - (c)	--¥99,606	-¥199,980	
	2018 年総残高(e) = (b) - (c)	¥2,185,613	¥1,978,421	

以上

2018 年 11 月 21 日

2019 年 IEEE Shikoku Section 活動計画

Chair 濱村 昌則

1. Annual Meeting

平成 31 年電気関係学会四国支部連合大会会期中に実施

2. Meetings

(1) Committee Meeting

- ・定期開催: 平成 31 年電気関係学会四国支部連合大会の会期中に実施
- ・不定期開催: 年 5 回程度実施. 必要に応じて電子メールにより実施.

(2) Technical Conference/Meeting

a) Technical Conference

平成 31 年電気関係学会四国支部連合大会を電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会など 8 学会と共催する. また優秀な論文を発表した学生に対して「優秀発表賞」「英語発表奨励賞」を表彰する.

b) Technical Meeting

講演会 5 件程度開催(単独開催および関連学会との共催)

3. 各コミッティの活動計画

(1) Membership Development (Chair: 植田和憲(高知工科大))

a) Student Member 増強

Student Activities Chair と連携し, Student Member の増員を図る.

b) Shikoku Section 傘下の Chapter との連携

CAS Shikoku Chapter, EMB West Japan Chapter との連携を強化し, Chapter 独自の Membership Development 活動などについての情報を収集する.

(2) Student Activities (Chair: 榎本崇宏 (徳島大))

a) 学生会員増強

Membership Development Chair と連携し, 支部内での学生会員の増員を目指す.

b) 英語によるプレゼンテーション能力向上

英語を母国語としない学生が英語で学会発表するために論文作成, プレゼンテーション能力の向上を目指し, Native Speaker などの英語講師による勉強会を開催する.

c) Student Branch の活動

- ・現在活動している香川大学と徳島大学の各 Student Branch の活動を充実させる.

d) IEEE Student Branch Leadership Training Workshop への参加

Student Branch 設立済みもしくは設立が見込める大学について積極的にワークショップへの参加を促す.

(3) Nominations (Chair: 星野孝総 (高知工科大))

a) Member Grade Elevation 支援

Senior Member 候補者をリストアップし, 支援の強化を行なう.

(4) Professional Activities (Chair: 藤本憲市 (香川大))

専門講習会を実施する. 主に学生向け講習会について検討する.

(5) Section History

支部設立からこれまでの経緯について情報整備を行う.

2. 予算案計画

IEEE SHIKOKU SECTION 予算案

(JPY)

収 入	Section Rebate	¥370,000
	Section Assessment	¥420,000
	Section Assessment 還元分	¥63,000
	その他(利息)	¥20
	2019 年収入小計(a)	¥853,020
	2018 年残高の繰越(d)	¥2,185,613
	2019 年総収入(b)=(a)+(d)	¥3,038,633
支 出	講演会等共催負担金	¥200,000
	英語ブラッシュアップ講座運営費	¥90,000
	会合開催費	¥150,000
	事務局運営費	¥20,000
	Japan Council への拠出金	¥420,000
	四国支部連合大会分担金	¥110,000
	CAS Chapter Rebate	¥40,000
	2019 年支出小計(c)	¥1,030,000
	2019 年単年度収支(a)-(c)	-¥176,980
	2019 年総残高(e)=(b)-(c)	¥2,008,633

以上